

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	横浜市十日市場保育園
報告書作成日	平成29年3月27日（評価に要した期間 約5か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川



評価方法



自己評価 （実施期間：28年11月9日 ～ 29年1月6日）	職員全員が自己評価票に基づいてそれぞれ評価を実施し、その後4つのグループに分かれて、園としての自己評価について検討を進めた。さらに、全体会議で審議し園長が取りまとめ、結果を職員全員で共有した。
評価調査員による評価方法 （実施期間： 29年2月1日、3日）	評価調査員（3名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任保育士、保育士）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当と幼児担当の2グループ別を実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：28年11月11日 ～11月21日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、クラスごとに回収箱（評価機関が設置）にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：29年2月1日、3日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。


評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針 の共通理解と保育 課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針に「一人ひとりを大切にする保育」を掲げ、保育目標や保育姿勢においても、子どもを第一に考え、尊重した内容になっています。 ・年度末の職員会議で、正規職員全員で保育方針の振り返りを実施し、見直し、修正する仕組みはできています。アルバイト、福祉員も含め、全員が印刷されたカードを携行しミーティングで読みあげ共通理解に努めています。保育方針や保育目標は園のしおり等に記載され、また、保護者や職員が常に目にする場所（事務室・2Fホール）に大きく引き伸ばした額に入れて掲示しています。 ・保育課程も年度末に振り返りを実施し、それをもとに次年度に向けて内容の確認及び見直しを行い、それに基づいて作成される保育計画は、利用者（保護者も含む）の就労・文化・宗教の背景の事情が様々であることを理解し、作成しています。また、園庭、地域の公園の活用や、近隣園・施設・学校・自治会との交流など、社会資源の活用を通して子どもの育ちを大切にしています。 ・指導計画作成の際には、自然現象や動植物など子どものあらゆる関心を





	<p>引出し、把握し、それに沿った内容になるように配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任間で必要に応じて話し合いの場を設け、クラス運営や個別のケースについての共通認識を深め、全員が同じ関わりを持てるようにしています。 ・保護者からの相談や行事参加での意見などを取り入れ指導計画に反映しています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育歴や家庭環境など入園までの子どもの状況について、提出書類や入園説明会の様子などで把握に努め、職員間の情報共有を図ると共に、入園後は、「聞き取り表」により、詳細な状況を把握しています。 ・アレルギー児に対しては、事前に調理員を含めての面談を実施し、ケースの情報の徹底周知・対応方法・シミュレーションの実施をし、特に担任は初日の誤食事故に留意しています。また初日は極力アレルギー食材を使用しない献立を検討しています。 ・障害児や要配慮児の入所の際は、療育センターや居住地の担当ケースワーカーと連携を取り、情報提供を受けています。 ・担任だけでなく職員全員で保護者とのコミュニケーションをとることで、信頼関係を深めることに努めています。 ・新入園児の受け入れにあたり、環境の変化に早く馴染めるようにゆるやかな担任制を作り、1歳児以上は新入園児を主に担当する保育士を決めています。入園初日に保護者と一緒に給食を食べ、子どもの安心できる環境を作ることで2日目以降の気持ちの安定につなげています。また保護者の不安解消のために早い時期に各クラスの懇談会を実施しています。 ・保育時間が長い子どもへの配慮については、一日の中で必ず自由に過ごせる時間を設定し、コーナーを明確に分けることで好きな事に落ち着いて取り組んだり、気持ちを休められるようにしています。 ・指導計画は、保育課程の見直しをし、それをもとに年間指導計画・月カリキュラムを作成、カリキュラム会議にて全員で検討し、毎月振り返りをした内容を次月に活かす、という流れが定着しています。 ・適宜保護者との面談を受付け、個別の指導計画に反映しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが快適に過ごせる環境作りのため、各部屋に温湿度計・加湿空気清浄器を設置し記録するなど、空調の管理を実施しています。夏期はグリーンカーテン、よしず、日よけネットなどで適度な採光に配慮しています。トイレの換気や掃除もチェックリストにより確実に実施しています。 ・室内や園庭などには季節感のある花を飾ったり植物を栽培し、豊かな情緒の育ちを促しています。 ・各トイレ、1階テラスに1か所、2階テラスに1か所温水シャワーを設置しています。排泄後の衛生管理をしたり、入室前に汚れや汗を流したり、室内で清潔に過ごせるようにしています。 ・夏期は全身シャワーを実施していますが、その際、健康チェック（この間は毎日）やテラスの目隠し、レジオネラ菌対策などの配慮がなされています。 ・子どもの発達に応じ、間仕切りや衝立を使用して広さや機能を確保しています。また死角ができないように配慮もしています。異年齢交流は、自由遊びの中で日常的に異年齢の保育室で遊べる機会があり、年間計画に基づいての異年齢交流の場が設けられています。



<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画を基本としつつも、子ども一人ひとりの状況に応じて柔軟に対応を変えています。その際には、ミーティングで全職員に周知し、同じ対応ができるようにしています。3歳未満児については、個別指導計画に加え、クラス全体のカリキュラムを作成し、集団での育ちも視野に入れて計画し、幼児クラスで個別指導計画を作成していなくても一時的に課題がある場合には、月カリキュラムの個別配慮欄を活用し、課題や必要な配慮を明文化して周知しています。 ・期ごとに振り返りをし、支援方法の検討や統一・指導計画の相談などを行っています。 ・保護者との情報交換をし、家庭と保育園での支援方法に相違が生じないように配慮しています。 ・個別の児童表・経過記録を作成し、全園児一括して事務室に保管し、必要な情報が常に職員が閲覧できるようになっています。 ・個人面談の内容を所定の様式に記録して残しています。 ・毎月の身体測定と、年2回の園医による健康診断・年1回の歯科健診を実施しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを受け入れにあたっては、マニュアルを作成し、それに基づいて対応すると共に、北部地域療育センターと連携を取り、専門知識やアドバイスを受け、共有しています。 ・担任が作成した個別支援計画書をもとに、カリキュラム会議の中で全職員の意見を聞き、支援を検討し、情報共有しています。福祉員への引き継ぎの時間が設けられています。 ・障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮については、巡回相談・療育センター・ケースワーカー・保健師などの専門機関と連携し、適切な支援方法のための情報収集をしています。 ・療育センターの職員に研修を依頼し、アルバイト職員も含め園内研修を行っています。 ・階段・トイレ・シャワーなどに手すりを設置しています。門から1階保育室までは段差なく移動でき、また、マークや絵を使い視覚的に分かりやすい工夫をしています。 ・統合保育の中で、子どもたちが障害を特別なことだと思わずに、個性として自然に受け入れられるように接しています。 ・虐待を疑われる子どもについては、「虐待防止ファイル」を作成し、横浜市の指針やハンドブックなどに基づき、早期発見と適切な対応に努めています。 ・毎日の健康観察、着替え時の視診を行い不自然なけがや、保護者との会話や連絡ノートの中から、小さな変化を見逃さないような体制を作っています。小さな気付きでも、迅速に園長・主任に報告、ミーティングで周知をし、全員の目で見落とさないような体制を作っています。 ・アレルギー疾患のある子どもへの対応については、横浜市（こども青少年局・横浜市医師会保育園医部会）作成のマニュアルに沿って対応しています。アレルギーに関する情報は最重要事項として回覧、周知を特に徹底しています。 ・次月のメニューのアレルギー対応について、ケースごとに保護者と面談を行い、日々の給食では調理担当者、検食者による給食日誌との内容の確認、一人ひとり専用のトレー・食器・除去食材名と名前を書いたプレート・献立表を使用し、特に不特定の保育者が対応する延長や土曜日についてはマニュアルが作成され、誤りの無いように努めています。在園中のアレルギーの情報をファイルにまとめ全職員が閲覧、情報の共有が

	<p>できるようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して、宗教食の対応は、除去・代替食で対応し。必要に応じ弁当の持参をしてもらっています。 ・配布物、連絡ノートでは、ローマ字のルビ打ち、もしくはローマ字記入し、英語版があれば用意し、書面で伝わりにくい場合は直接もしくは電話連絡しています。 ・保護者の要望に応じて、保護者のスマートフォンの翻訳アプリを使用し、て伝達しています。
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートは毎年実施すると共に、主要な行事の後にもアンケートを実施しています。 ・各クラスの掲示板に苦情解決窓口の利用方法、第三者委員の連絡先を明示し、また、コミュニケーションボックスを各クラスに配置し、いつでも匿名で意見を伝える仕組みを作っています。 ・保護者との日常の会話の中で、園生活、家庭での生活の情報交換をし、その中で、言葉や声、表情から困っている事や不安・不満を汲み取る努力をしています。 ・要望や苦情を受けて、迅速に対応できる仕組みについて、結果はその都度集計し、配布・掲示にて公表しています。苦情要望に関する記録のファイルを作成し、記録に残し全職員で周知し、また、市や区で情報を共有し、解決に努める体制がとられています。 ・相談内容によっては児童相談所や区こども家庭支援課に相談し、解決への援助を要請しています。 ・近隣へ配慮して、送迎時の車の停めかたが迷惑にならないように定期的に呼びかけ及び常時掲示にてお知らせしています。苦情が入った際には迅速に対応し、警察からも呼びかけをもらったケースもありました。 ・門扉の前に駐車禁止の張り紙、カラーコーンの設置で視覚的に訴え、必要に応じて職員が立ち管理しています。



評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できるよう配慮されています。ホールは30分単位で使用予定を決めて有効活用しています。特に雨天時には体を動かして遊ぶことができる場所となっています。 ・動植物の飼育や栽培・園芸活動など、自然に触れたり地域社会に関わる体験が取り入れられています。保育士が地域の方に挨拶や会話を積極的にする姿をみて、子どもも自然と挨拶する習慣が身に付いています。 ・自由遊びやリズム遊びを通して自主性や体で表現する楽しさを味わっています。異年齢交流保育を月2回程度計画し、年長児は年下児の世話をし、年下児は年長児の姿に憧れをもったり、教えてもらったりする機会となっています。 ・園周辺には公園や自然が多く、散歩に出かけ自然に触れる機会を作っています。乳児クラスはテラスを使用し、こまめに外気浴をする機会をつくっています。


<p>Ⅱ－１ 保育内容</p> <p>[生活]</p> 	<p>[生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食はもちろん、配慮の必要な子には食べやすい形態や大きさ、硬さで提供しています。 ・献立は子ども青少年局の管理栄養士が一斉作成し、季節感のあるバラエティ豊かな内容となっています。保育士は子どもの好き嫌いに合わせて食べる前に量を調整し、子どもが自分の食べられる量を知り、食べることの喜びを感じられるようにしています。 ・乳児クラスは子どもが安心して入眠できるように保育士が子守唄を歌っています。幼児クラスは3クラスがホールで午睡をしていますが、多人数や広い空間では眠りにくい子どもは保育室で静かに落ち着いて入眠できるように配慮しています。 ・トイレトレーニングは担任間で情報を共有し、子どもの排泄リズムに合わせて、誰が対応しても同じように援助できるように留意しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き指導は、毎日の取り組みだけでなく、歯科医・看護師の指導を定期的に受けています。 ・健康台帳は保護者に予防接種の接種状況などを随時更新してもらい、常に最新の情報に保っています。園医に保護者向けに乳幼児の健康についての話をしてもらい、質疑を受ける機会を設定しています。健康診断の日に欠席した場合は、受診したかどうかを確認し、100%の健康診断受診をめざしています。 ・園内で発症している感染症について、人数・クラス・感染経路・予防などについて詳しい掲示をし、保護者に情報提供しています。保育中に発病した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情を考慮しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスマニュアルを各自が年に一度読み返し、年度末には全員で内容の検討を実施しています。 ・嘔吐処理方法についての園内研修を実施し、各保育室等に嘔吐処理に必要なものをセットにしてバケツに入れ、いつでも取り出せるように準備しています。 ・各保育室やトイレなどに清掃手順・清掃点検チェックリストがあります。 ・調理室の衛生管理は、緑区及び子ども青少年局の指導に応じて実施、点検を受けています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室や子どもが過ごす場所の棚など転倒の危険があるものを固定するなど、倒れないように工夫しています。 ・保護者全員へメール配信で必要な情報を伝達しています。「園児引き渡し・緊急時連絡カード兼園児引き取り者届出書」をクラスごとに作成しています。年1回の伝達訓練において全員への連絡が取れることを確認しています。 ・子どものケガや変化は保護者に必ず報告し、日誌の特記事項欄に記録し、ミーティングで全職員に周知し、対応や反省を検討しています。 ・不審者対応訓練を実施し、不審者対応のシミュレーションや職員間の合言葉を確認しています。



<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回必ず人権研修を受講し、また子どもの人権研修を実施し、子どもの人権だけでなく様々な人権問題を学んでいます。 ・コーナーを作るなどして、プライバシーが守れる空間を確保できるよう工夫がなされています。棚で仕切ったコーナーがあり、静かに過ごせたり、落ちついて入眠できる環境づくりをしています。 ・個人情報取り扱いマニュアルがあり、重要部分や保育室内に必要な情報をクラスマニュアルに綴じこんであります。 ・個人情報や守秘義務について園内研修を実施し、保護者やボランティア・実習生を受け入れる際にも伝えていきます。 ・要望があれば顔が映っているものは園内であっても公開しないようにしています。人権研修にて「ジェンダー」や「セクシャルマイノリティ」について受講した職員が情報提供しています。 ・子どもが分かり易いように、整列の一場面でも男女分けすることがあるが、性差による差別の不適切さについての認識はできています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会、年度当初の懇談会では園基本方針や取り組み方針などを説明しています。保護者アンケート中の最初の項目で基本方針についての設問をし、保護者の意識を確認しています。 ・幼児クラスは毎日の活動をクラスノートで伝え、その日の担任の記入に対して保護者からのコメント欄があり、自由に書き込めるようにしています。 ・面談は基本的に事務室で実施し、「面談中」の札を掲げてあり、その場合は職員であっても入室しない事が決められています。 ・保護者参加の行事では、クラス毎にクラスだよりを発行し、行事のねらいや取組・当時の見どころなどを伝えています。年間行事予定表には保育参加行事をわかりやすく掲示し、新入園児には入園説明会において口頭で説明を加え、保護者の園行事への参加を呼び掛けています。 ・保護者会との共催行事として、夏まつり・芋掘りがあり、行事準備から連携して進めています。保護者会行事として、人形劇などを招待し、会場や費用の運営に関しては園長や担当保育士と連携して実施しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区の公立保育園として地域全体のニーズばかりでなく、育児講座、育児相談など地域の子育て支援の取組は多く、参加人数は少なくても支援する職員を通して個別のニーズに接することができ、職員会議などで情報共有されています。 ・区のセンター園と同等の育児支援強化を目指し、赤ちゃんの駅、離乳食ランチ交流を始めたほか、週5日の園庭開放、一時保育、延長保育や交流保育が実施され、園庭開放時には毎木曜日に図書館と連携したミニおはなし会や絵本の貸し出し、月2回の身体測定の機会を提供しています。一時保育の児童は「いちご組」、延長保育の児童は「ほし組」として、時間内は園児と同等の扱いをしています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談は木曜日に実施しているほか、地域の子育て支援の機会にも相談機会を設けて、相談内容は育児相談記録に記録されています。育児相談を始めとする子育て支援のチラシはケアプラザや地域子育て支援拠点「いっぽ」などで配布、掲示され、緑区の子育て広報でも情報提供されています。 ・北部地域療育センター、園医、地域の小中学校などの関係機関の連絡先はファイリングされて、職員の誰もが連絡をとれるようにしています。関係機関とは日常的に情報交換され、対応の連携が機能するコミュニケーションがとられています。



評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・団地自治会とのお茶のみ会、有料老人ホーム「はびね横浜」の園児訪問、中学校連携の「ハートフルルーム交流」など幅広い年齢層との定期的な交流機会があり、保育園の行事の際は近隣住民にあいさつ文を渡し、交流参加を呼び掛けています。十日市場地区に多くある民間保育園、幼稚園、小学校との連携は地域で計画的に実施されているほか、中学校からの職業体験は年間70～80人を受け入れ、感想やアンケートを中学校と共有しています。 ・地域に多くある自然資源や公園・施設を活用した園外保育を積極的に行い、日常的に地域の人達と接する機会を作っています。緑区の星槎学園のサークルから始まった和太鼓を保育に取り入れて、保護者会と連携した行事での発表によって地域との交流がなされて園生活のシンボルとして定着しています。



<p>IV-2 サービス 内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区のホームページや子育て支援に関する広報への情報提供、ケアプラザや地域子育て支援拠点などでのチラシ掲示・配布をしています。職員の活動として「園だよりを面白くする」プロジェクトがあり、文字だけになりがちな情報を読み手の立場にたった工夫に取り組んでいます。 ・保育園のパンフレットは、電話対応時に活用され訪問者に渡されています。利用希望者には園見学を促し、月に2回程度設定の園見学のほか希望者の都合に合わせて柔軟に対応しています。園見学の機会に園生活を体験してもらうと同時に、保護者面談の第一歩と位置付けています。
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区社会福祉協会登録のボランティアを継続的に2～3名受け入れているほか、夏休みに2高校のボランティアを受け入れています。受け入れは主任クラスが担当し、受け入れマニュアルに沿った説明、ボランティアの管理、職員への周知がなされています。ボランティアの記録が整理され、感想やコメントの園だより掲載などの園運営に取り入れています。 ・保育の学校および看護学校から年間20～30名の実習生を受け入れ、各2週間程度の実習では実習生の希望とクラスのプログラムを合わせて日程を調整しています。実習生受け入れの方針や日程は保護者に伝えられ、受け入れのマニュアルに沿ったオリエンテーションがされています。毎日、実習の目標が確認され、その日のうちに反省会をして振り返る実習が行われています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・11時間開所、また、配慮を必要とする児童を比較的多く受け入れているため、運営に必要な人材構成を確保しています。臨時職員を含めた全職員が目標共有シートに目標を作成、そして振り返りを上司と面談して作成しています。保育園の自己評価とともに保育士一人一人が自己評価を実施しています。 ・緑区の研修など外部研修に職員が目標意識をもって参加し、その研修内容の報告・回覧によって情報共有が図られています。個人の参加実績は研修手帳に記録されるとともに研修受講表で全体のバランスが管理されています。 ・非常勤職員に対しては、園長、代行保育士、フロアリーダー、クラスリーダーが役割に応じて組織的に指導しています。引き継ぎ事項は正規職員と一緒に受け、伝達事項や会議での決定事項は職員から伝える体制が作られています。緑区のネットワーク研修や時間外研修は非常勤職員にも参加を呼びかけています。

<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の自己評価と同時に職員の自己評価を毎年行って、全員が項目ごとに評価・反省を行い全職員で次年度に反映させる年間サイクルができています。近隣園との交換研修や担任外のクラスを経験する「交換留学交流」と名付けられた園内研修など実践的な研修が実施されています。 ・保育日誌の中で、保育のエピソード、保育の改善・検討事項を記入し毎日の考察・自己評価ができるようになってきました。それが毎月のカリキュラムの振り返りと次月への計画見直し、年度末には保育士の自己評価の振り返りと次年度への反映という、計画・実施・振り返りのサイクルが積み上げられる仕組みが確立しています。 ・アルバイト職員を含め、クラスごとに各々の自己評価を踏まえながら保育所の自己評価が園長によってまとめられ、それを園全体で検討して確定する仕組みができています。保育所の自己評価は保護者アンケートの結果、課題と改善策とともに園内に掲示して保護者に公表しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市「保育士人材育成ビジョン」に明文化されている経験・能力や役割を最低基準にして目標設定がされています。職場満足度アンケートやストレス度チェックを実施し、職員の業務の振り返り、希望や意見を判断材料にして、目標作成シートに基づく園長面談が年2回実施されています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員としての服務規程、法令順守の基準が定められ、職員は毎年研修に参加しています。他園での事案ケースの回覧やミーティングで周知・検討され、具体的な事例を基にした不祥事防止の園内研修が行われています。 ・クラス内で園児にもゴミの分別化がすすめられ、牛乳パックの再利用やトイレトーパー芯を乳児用トイレのペーパー入れに再利用しています。横浜市のエネルギーカルテシステムが導入され、使用エネルギーの目標が設定され毎月の実績報告が義務付けられています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室および各クラス内の壁に保育理念、保育方針と保育目標が掲示して職員が常に見られるようにしています。職員の名札に「十日市場保育園の理念・運営方針・保育方針・保育目標・保育姿勢」が記されたカードをいれ、機に応じて確認できるように周知しています。 ・防犯対策としての「保護者証」の配布と提示、給食の主食提供などの重要な決定は、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由を口頭だけでなく、文書にして配布、掲示をし、保護者説明会を開催しています。 ・主任クラスによる職員向けにリーダー研修や主任研修が実施されています。個々の職員の業務状況を把握し、能力や経験に合わせて配置体制を計画する次席、主任は、事務室内の職員体制用ホワイトボードを活用し、随時、最善体制を考えて運営しています。

VI-3 効率的な

運営



- ・横浜市の子立保育園として、市及び区からの事業運営に関わる情報は文書を回覧したり、会議で職員に説明し、職員が周知できる仕組みができています。また育児支援を通じて、求められている支援状況を把握して、事業に活かし保育所全体の取り組みにしています。
- ・横浜市中期計画、緑区運営方針、かがやけ横浜市こども青少年プラン等、横浜市としての策定した計画に沿って運営されています。また国や横浜市から周知されたことは、迅速に職員に周知されています。

利用者家族アンケート

〔結果の特徴〕

◆実施方法

- ・ 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・ 評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：109 回答数：64 回収率：58.7%

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて62.5%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合が62.5%で2/3の保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○保育園のサービス内容について

- ・ 園の目標や方針についての説明について（96.8%）
- ・ 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応について（96.8%）
- ・ 保育園での1日の過ごし方についての説明について（95.2%）
- ・ 費用やきまりに関する説明について（91.9%）

○保育や行事の年間計画について

- ・ 年間の保育や行事の説明について（90.5%）

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・ クラスの活動や遊びについて（96.8%）
- ・ 子どもが戸外遊びを十分しているかについて（96.8%）
- ・ 園のおもちゃや教材について（95.2%）
- ・ 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について（92.1%）
- ・ 遊びを通して友だちや保育者との関わりが十分もっているかについて（95.2%）
- ・ 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて（95.2%）

「生活」

- ・ お子さんが給食を楽しんでいるかについて（95.2%）
- ・ 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて（95.2%）
- ・ 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについて（98.4%）
- ・ お子さんの体調への気配りについて（96.8%）
- ・ 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には（93.7%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて（92.1%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について（90.5%）
- ・ 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について（90.5%）
- ・ お子さんに関する重要な情報の連絡体制について（93.7%）
- ・ 保護者からの相談事への対応について（92.1%）

○職員の対応について

- ・ あなたのお子さんが大切にされているかについて（95.2%）
- ・ あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて（98.4%）
- ・ 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて（90.5%）

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- ・ 総合満足度は（96.8%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は下記のとおりです。

- 保育園の快適さや安全対策などについて
 - ・施設設備について（22.2%）
 - ・外部からの不審者侵入を防ぐ対策について（28.6%）

◆自由意見について

○保育園に対する御礼や感謝のコメントが多数寄せられました。一方で施設の老朽化に伴う改善要望やセキュリティーの強化に関する要望もありました。

◆まとめ

○総合満足度は96.8%と極めて高くなっています。

○日常の保育内容（「遊び」と「生活」）に対する満足度が特に高く、子どもが楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、園に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われま。

〔調査結果〕

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	7	33	13	9	1	1	64
(%)	10.9%	51.6%	20.3%	14.1%	1.6%	1.6%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	30	10	2	0	0	22	64
	46.9%	15.6%	3.1%	0.0%	0.0%	34.4%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	38	14	0	0	10	2	64
	59.4%	21.9%	0.0%	0.0%	15.6%	3.1%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	37	20	1	0	5	1	64
	57.8%	31.3%	1.6%	0.0%	7.8%	1.6%	100.0%
園の目標や方針についての説明については	34	28	2	0	0	0	64
	53.1%	43.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	46	16	0	0	2	0	64	
	71.9%	25.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	43	18	3	0	0	0	64	
	67.2%	28.1%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	35	23	3	2	0	0	63	
	55.6%	36.5%	4.8%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%	

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	31	27	4	1	0	1	64
	48.4%	42.2%	6.3%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	20	34	7	1	1	1	64
	31.3%	53.1%	10.9%	1.6%	1.6%	1.6%	100.0%

問4 日常の保育内容について

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	その他	無回答	計
「遊び」について クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	43	19	0	0	0	2	64
	67.2%	29.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	42	20	1	0	0	1	64
	65.6%	31.3%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてある)	41	20	2	0	0	1	64
	64.1%	31.3%	3.1%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%

か、年齢にふさわしいかなど)							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	45	14	2	1	1	1	64
	70.3%	21.9%	3.1%	1.6%	1.6%	1.6%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	37	24	2	0	0	1	64
	57.8%	37.5%	3.1%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	40	21	2	0	0	1	64
	62.5%	32.8%	3.1%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	44	13	2	2	3	0	64
	68.8%	20.3%	3.1%	3.1%	4.7%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	45	16	3	0	0	0	64
	70.3%	25.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	45	16	3	0	0	0	64
	70.3%	25.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	41	22	1	0	0	0	64
	64.1%	34.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	35	17	0	0	11	1	64
	54.7%	26.6%	0.0%	0.0%	17.2%	1.6%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	41	21	1	1	0	0	64
	64.1%	32.8%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	39	21	2	1	1	0	64
	60.9%	32.8%	3.1%	1.6%	1.6%	0.0%	100.0%

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	23	25	9	5	2	0	64
	35.9%	39.1%	14.1%	7.8%	3.1%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっ ているかについては	36	23	5	0	0	0	64
	56.3%	35.9%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	27	18	15	3	1	0	64
	42.2%	28.1%	23.4%	4.7%	1.6%	0.0%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供 については	35	20	7	2	0	0	64
	54.7%	31.3%	10.9%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合 いの機会については	22	36	3	0	2	1	64
	34.4%	56.3%	4.7%	0.0%	3.1%	1.6%	100.0%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に 関する情報提供については	29	29	5	0	0	1	64
	45.3%	45.3%	7.8%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮につ いては	26	24	9	3	1	1	64
	40.6%	37.5%	14.1%	4.7%	1.6%	1.6%	100.0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交 換については	23	33	5	2	0	1	64
	35.9%	51.6%	7.8%	3.1%	0.0%	1.6%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制につ いては	32	28	2	0	1	1	64
	50.0%	43.8%	3.1%	0.0%	1.6%	1.6%	100.0%

保護者からの相談事への対応には	36	23	4	0	0	1	64
	56.3%	35.9%	6.3%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	29	18	7	5	4	1	64
	45.3%	28.1%	10.9%	7.8%	6.3%	1.6%	100.0%

問7 職員の対応について

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	40	21	2	0	0	1	64
	62.5%	32.8%	3.1%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	49	14	0	0	0	1	64
	76.6%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	39	17	3	0	4	1	64
	60.9%	26.6%	4.7%	0.0%	6.3%	1.6%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	38	20	3	1	1	1	64
	59.4%	31.3%	4.7%	1.6%	1.6%	1.6%	100.0%
意見や要望への対応については	33	22	4	3	1	1	64
	51.6%	34.4%	6.3%	4.7%	1.6%	1.6%	100.0%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらか といえば 満足	どちら かとい えば不 満	不満	無回答	-	計
総合満足度は	35	27	0	1	1		64
	54.7%	42.2%	0.0%	1.6%	1.6%		100.0%

利用者本人調査（保育観察）

【0歳児ちゅうりっぷ組】

2月3日3時15分～30分

おやつ時間を観察した。おやつメニューは月齢の低い子は離乳食で、月齢の高い子は柔らかい煎餅？と牛乳でした。0歳児は月齢によって発達が異なり、大きい子は自分で手で全部食べていたが、離乳食の子は保育士の先生から手伝ってもらって食べていました。みんな嬉しそうにおやつを食べていました。

【1歳児たんぽぽ組】

2月3日3時15分～30分

おやつ時間を観察した。おやつメニューはビスケットと牛乳とミカンで、1歳児は月齢によって発達が異なり、大きい子は自分でミカンの皮をむいて全部食べ早々にエプロンなどおしまい箱に入れる子や、小さい子は保育士の先生から手伝って食べている子さまざまでした。みんな嬉しそうにおやつを食べていました。帰り際に「バイバイ」というとみんなニコニコして「バイバイ」と手を振ってくれました。

【2歳児もも組】

2月1日12時～30分

昼食時間を観察した。献立は御飯、みそラーメン、切干大根とにんじんの炒め物とお茶で、ラーメンの中身のコーンやなると巻、もやしを取り出しながら、「これコーンというんだよ」など言い合いながら、皆楽しそうに食べていました。ラーメンを最初に食べ最後に御飯を食べる子と、逆に御飯を最初に食べラーメンを後に食べる子とさまざまでした。最後にデザートのみカンがあり、皆今日の献立に満足の様子でした。

【3歳児ばら組】

2月3日12時20分～40分

昼食を終え、トイレに行って午睡のホールに行く前に、階段の横にあるガラス窓から1階の廊下の様子を2～3人で順番にのぞいていました。生活の中の短い時間を見つけて遊びを探している様子が窺えました。昼食が終わりかけ、机に置いてある歯ブラシたての中に「同じ歯ブラシがあるけど違う子の歯ブラシなの」と説明してくれました。

【4歳児ゆり組】

2月3日12時20分～40分

昼食後の午睡前に、4歳児の保育室前の壁に作品絵（紫、赤、青フィルム紙の上に手作りの雪だるまと、雪だるまに目鼻口と雪だるまの帽子に絵柄を書いたもの）があったので、それを見ていたら、ポニーテールした園児の一人が来て「僕ヨットの絵の雪だるまだよ、どれだかわかる？」と言うので、探したら上の方にあったので、「これ？」と言ったら、「そう」と答えた。「僕ヨットがすきなんだ」と言ってにこにこして保育室に帰って行きました。

【5歳児ひまわり組】

2月1日12時30～45分

昼食前に、クラスで園長先生が紹介してくれましたが、園児は直ぐに名前を覚えてくれて2回目からは「〇〇さん」と名前で声をかけてくれました。自分がどこで生まれたか、どこに住んでいるか、兄弟の年齢など世間話ができるようになっていて、人に対して興味津々な様子でした。5人の園児と同じ机で昼食をとりました。その間自分が作った節分の鬼の面についてクイズの出し合いをしたり、机の上にある花を先生が持ってきたことなど、よどみなく話しあいながら楽しく食事をしてました。

事業者コメント

第三者評価を受審査して・・・

今回の受審に際し各自の自己評価をもとに、項目毎のグループ別や事例検討会議等で話し合いを進め、全職員で検討と確認を行ないました。こうした作業を通じて今まで慣習のように行なっていた事や、共通認識だと思っていたことが、個々に捉え方が違っていただけと気づかされることもありました。職員がお互いの意見を語り合い意思統一を図っていくこの経験は、保育園全体の質の向上につながり、また職員同士の協調性をより深める機会となりました。

評価項目の工夫事例を一つ一つ丁寧にしながら、当保育園の良いところや課題を明確にして下さった評価員の皆様、忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今後も利用者の皆様に満足していただけるような保育園を目指して、職員一同、努力していきたいと思っております。

横浜市十日市場保育園
園長 加藤 さと子